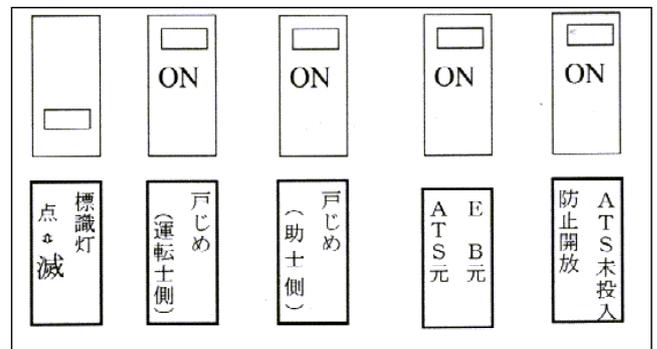


「戸締めNFB」の誤扱い防止対策を実施!

5月に入り運転職場では、「戸締めNFB誤動作防止対策の実施」という掲示が出されました。具体的内容は隣接するNFB(ATS・EB元、標識灯NFB)操作時における戸締めNFBの誤扱い防止のため、運転士右側上部にある遮断器内「戸締め(運転士側)」「戸締め(車掌側)」のNFB操作のための窓のついた**カバーを取り付ける**というものです。

配電盤

名古屋地本は、運転士が誤って隣の戸締めNFBのスイッチも「切」としてしまふ事象が発生するたびに**何度も申し入れ**を行い、業務委員会で議論してきました。私たちはATS・EB元NFBの隣には標識灯などの誤って触れても問題のない



NFBに配置し直すこと。戸締め(助手側)NFBにアクリルカバーを付け誤って触れない対策を行うことなどを主張してきました。

会社は「手順通りにやれば問題ない」「運転士の取り扱いが悪い」「基本動作を行い確認をしっかりとすれば問題はない」と回答を繰り返してきました。現場では、保安装置関係のミスだから重大な事故だとして、大々的に掲示され、日勤教育が課せられています。

ミスは「原因」でなく「結果」

人間はミスをする、それは安全対策を進めるに当たっての大前提です。なぜミスをしたのかメーター・スイッチ・環境などを総合的に判断して考える事が重要です。安全を脅かす要因のすべてを取り除く努力をする事が真の安全対策といえます。

会社は東海労の声に耳を傾けるべきだ!

要求実現!